

	子どもの育ちに関して	保護者支援に関して	食育に関して	健康・安全に関して	その他（よかったこと・改善点）	次年度につなげるために
たんぽぽ組	<p>はいはいやつかまり立ち、歩行では個人差のある中で、出来た時は一緒に喜び、気持ちを共有することで、子ども達も楽しめるようにしていった。その中で、転倒などによる怪我もあり、環境について安全性等再度保育士間で話し合いを行い、必ず一人保育士が側で見守る等の配慮について確認をした。行動範囲も広くなり、色々なことに興味・関心を持つ姿が見られた。後半は、リズム遊びやマット運動を行ったが、子ども達も体を動かす事を好む姿もあったので、登る、降りる、跳ぶなどの運動をさらに取り入れていけばよかったと思う。指先を使った遊びなども取り入れ（シール貼り、絵画）集中して楽しむ環境を心掛けた。友達との関わりを楽しむ姿も増えた分、トラブルにつながる事も増えた。また自己主張も見られる様になった。その時は、子どもの気持ちを一度受け止めてから、してはいけないことを伝えたり、友だちへの気持ちを代弁して伝えた。</p>	<p>できる限り、保護者の話を聞いたりしながら、その家庭の様子に合わせて、アドバイスをすることができた。送迎の方が一定ではない家庭もいるので、行事前や持ち物の確認、お知らせ等があるときは、細かく説明を書いたメモをおたより帳に貼り、確認が行えるようにした。</p>	<p>ミルクでは飲む量・飲み方の癖・飲む時間など家庭での授乳状況を把握しながら進め、園での授乳状況もきちんと家庭へ伝えた。離乳食では、離乳食表を用意し、家庭で食べた物を食品の一覧から丸をつけていただき、家庭での食事の状況を確認していった。そこから、園でも離乳食を進めた。調理担当者、一人一人に合った量や形状を確認し合い、連携を図ることができた。また、アレルギーをもった子に対しては、各皿ごとに名前を付けて、取り違いの無いようにしたり、食事をする場所も考えていった。後半は、個々の様子を見ながら、コップ・スプーン・フォークの持ち方を知らせた。好き嫌いも出てきたので、一口でも食べられたときには、褒めて、次につなげていけるようにした。</p>	<p>登園時と朝の健康観察で、子どもの体調について保育士間で伝達し合い、対応した。気温に応じて室温の調節、衣服の着脱をし、快適に過ごすことができる様に心掛けた。咳、鼻水など症状が見られたときは、早めの受診が出来る様に家庭へ知らせた。</p> <p>高月齢児と低月齢児で遊びの場所を分けて、安全に過ごしていけるように配慮した。</p>	<p>クラスのノートを用意し、連絡を密に取る事が出来る様にした。全員で確認し合う事が出来たのでよかったが、その中でも連絡ミスもあったので、気を付けていきたい。</p> <p>0歳児でも行える運動遊びや手作り玩具を考えて、準備をしてもよいと思った。</p>	<p>職員間で、一人一人の育ちや家庭環境を理解し、保育を進めていくとよいと思う。登降園の時間もそれぞれ違う中で、生活リズムを考えた保育内容を保育士間でさらに話し合いを進めていく。</p>
ちゅうりっぷ組・ばら組	<p>子ども達の関わりが増え、かみつきなどが見られることもあったが、お互いの気持ちを尊重できるよう、保育を進めていった。会話をすることを楽しめるよう、言葉がけを多く行い、発語を促すようにした。自分でやりたいという気持ちを大切にし、出来たことはたくさん褒め、自信につなげられるようにした。2歳児は全員オムツからパンツに移行し、1歳児もパンツで過ごす時間と作っていった。</p>	<p>送迎の時やお便り表を通して、保護者とともに子どもの成長を共に喜べるようにした。また、保護者の子育てへの不安や悩みなどを聞き、良い方向へむくようにした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うどん作りなどに参加できてよかった。</li> <li>・1歳児はスプーン・フォーク、2歳児は箸が持てる様進めていった。</li> <li>・苦手な食べ物が多くある子がいたが、少しずつ食べられるようにし、食べられた自信をつけるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い・うがいを保育士も一緒に行うようにし、出来る様にしていった。また、家庭でも行ってもらえるよう伝え、子ども達の感染予防をできるようにした。</li> <li>・動きが活発になる分、危険なことも増えてくるので、保育士間で連携をとり、安全に過ごせるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外遊びの時間を多くとり、体を沢山動かす事で、体力作りが出来たと思う。また、トイレで排泄できる子が多く、1歳児もパンツトレーニングを進める事ができてよかったと思う。</li> <li>・ローテーションの為、連絡や伝達事項がうまく伝わっていなかったこともあったので、さらに注意していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士間で共通意識を持ち、保育を進めていくとよいと思う。</li> <li>・登園時間がみんな違うので、どう保育を進めていくか話し合い、子ども達の過ごしやすい保育を作ってほしい。</li> </ul>

ゆり組・さくら組	<p>・子ども同士の関わりが増えたことで、他児の存在に気づき、活動や遊びの幅が広がり、心も体も成長した。また、戸外遊びや運動遊びを通して、体力がついたように感じる。</p> <p>・言葉の面では、生活を通して自然に習得し、話せるようになったり、理解力が高まった。</p>	<p>・送迎時の対話や連絡帳のやり取りを通して、十分なコミュニケーションはとれていたと思う。それと同時に保護者の思い、悩み（不安・疑問点）を直接聞くことで、そのことについてよい方向へ向かうよう対応した。</p> <p>子どもにとってどうしたらよいかを考え、協力し合いながら過ごせたと思う。</p>	<p>食育を通して、子どもも保育者も色々な観点から多くを学ぶことができた。食べ物についての食育では、食べる事で体が作られること、その食べ物はどのようにして作られているのか等、知らなかったことがたくさんあり、知ったうえで、子どもたちなりに考え“食”を学べたと思う。すべての食育活動で、子ども達はとも興味を持ち、楽しんで取り組むことが出来たことが、一番よかったと思う。</p>	<p>一年を通して、子どもの体調管理に配慮して過ごした。体調を崩さないために、出来る予防を実施し、園ではもちろん家庭でも協力していただきながら、過ごせたと思う。</p> <p>子どもの体調を把握することで、早めに気づき、早めの対応ができた。</p>	<p>・狙いを立てた中で、成し遂げられたこと、頑張ったけどできなかったことなどを子ども達と話し合いながら、日々を過ごせたので、その点が良かった。</p> <p>ゆったりとした時間の中で、一人一人と良く関われることもよかった。</p> <p>・子ども同士で解決できない時や、日常的な援助をしすぎたように思う。また、保育の流れでは、もう少しメリハリをつける事も出来たと思う。(例えば、ある程度の時間を決めて、朝の活動や朱活動を行うなど)</p>	<p>・夜までの園生活を送る中で、子どもの体調を見ながら、子どもにとって何が一番良いかを考え、今後も過ごしていくことが大切だと思う。また、保育者間でよく話し合い、連携をとる事も大切だと感じる。良い環境・雰囲気の中で、愛情をもって関わっていければ、良い保育へとつながると思う。</p>
すみれ組	<p>ゆたか保育園の年長児と一緒に活動を行い、人数の多い集団生活を経験することで、ルールや約束事を守る大切さを知ることができた。異年齢児やお年寄りとの交流の中で、いたわりや思いやりの気持ちが育ち、また、年長児としての自信や自覚も芽生えていった。マットや跳び箱、鉄棒などを使った活動を取り入れる事で、体の使い方を学びながら体力をつけていくことが出来た。自立心が育ち、自らの力でやり遂げる事で、喜びや充実感を味わう事ができた。</p>	<p>各家庭との連絡を取りながら、日々子ども達の様子を伝え合う事ができた。園行事への参加を呼び掛けながら、保護者と子どもの絆を深め、信頼関係を築いていくことができた。就学を意識し、朝の支度を子どもと一緒にしたり、規則正しい生活習慣を送れるよう呼びかけた。各家庭に合った対応の仕方を考えて対応し、保護者が安心して子供を預ける事ができる環境づくりができたと思う。</p>	<p>お泊り保育でのカレー作りやうどん作りなど、自らの経験を通じて食事への関心を持つことができた。また、食事を作る大変さを知る事で、感謝の気持ちを持つことができた。毎日の給食やおやつを皆で確認することで、食事の時間を楽しみに待ち、食事の際は和やかな雰囲気の中で、落ち着いて食べられた。行事食や伝統食を食べたりすることで、日本の文化や伝統を知り、親しみを持つことが出来た。</p>	<p>気温の変化に合わせて衣服の調節や水分補給を呼びかけ、少しずつ子ども達が自分で考えて行っている様子を掛けた。また、汗をかいたら着替えるといった行動もできた。戸外から戻った際や食事の前には、手洗い・うがいを習慣づけ、健康的な生活を送れるように心掛けた。避難訓練や防犯訓練を実施し、非常時の動きや約束事を確認しながら、安全への意識を高める事ができた。園外へ出た際は、子ども達と交通ルールをもう一度確認し、安全に楽しく活動することができた。</p>	<p>第二保育園だけでなく、ゆたか保育園の年長担任と連携を取り、子ども達の様子を伝え合う事ができた。担任が子どもの降園時に対応できない場合は、職員間で連携を取り、伝えてもらうなど、伝達ミスがない様にすることができた。投薬の忘れがない様、職員で声を掛けあい、工夫して行う事ができた。保育時間が長い子どももいたので、休息を取り入れたりして対応することができた。</p>	<p>今年度できないことや「こうしたらよい」ということを、職員間で話し合い、子どもに対してできる事を考えながら進めていけたら、よりよい保育ができると思う。伝達ミスが起これないようにメモを取り、残しておくことが良いと思う。</p>
給食	<p>(1) 給食の提供について・・・食事形態など、各クラスでの対応したものを提供することが出来たと思う。アレルギー食についても、危機感を持ち、提供することができた。今後も担任との意見交換や、食事の様子を見ることで、子ども達に合った形態での提供を心掛けていきたい。</p> <p>(2) 食育について・・・おもに3～4歳児を中心に行ってきたが、説明する・本を読むという事よりも自分たちや行動したり、実践したりすることの方が、子ども達は関心を持ってくれる事を感じた。継続してやらなければならないもの、その時期にやればよいものなど、計画を立てる時点で、もう少し考える必要があったと思う。</p> <p>(3) 改善点及び次年度への課題・・・味付けなど、出来るだけ統一できるようにしたい。</p> <p>アレルギーに関しては、引き続き事故が起きないように、緊張感を持って提供していきたい。また、飽きない様工夫もしていきたい。</p> <p>食育については、子ども達が興味を持ち、身につけてくれるような食育を心掛けていきたい。</p> <p style="text-align: right;">株式会社 LEOC 栄養士 桑子</p>					
園全体として	<p>幼保連携型認定こども園へ移行するに当たり、認定等保護者の方には、色々とお不便をおかけしてしまい、大変申し訳ありませんでした。</p> <p>また、年度途中による園児の増加や、職員の増加により、荷物の間違えや、伝達ミス等も見られたので、今後ミスがない様、さらに研修実施し、職員の資質向上をしていきたい。</p> <p>来年度は、幼保連携型認定こども園として、今まで以上に教育・保育の質の向上を図っていきたく思います。また、行事等で登園時間や持ち物のお願いをすることがありますが、いつもご協力していただき感謝しております。</p> <p>子どもにとって良い環境・保育を提供するために、保護者の皆様も何か質問・疑問・改善してもらいたい点がありましたら、遠慮なくお話し下さい。</p>					